

## 「安倍総理に初めて会った時のことを教えてください」

### ●さいとうさんからの質問

西田さん、いつも切れのよい弁舌、とても楽しみにしております。今、日本に必要なリーダーは安倍さん以外には考えられないと思っており、西田さんを始め多くの議員がしっかりと支えていって欲しいと思います。応援しています。ところで、西田さんも安倍さんのファンであったとのことですが、西田さんが安倍さんと初めてお会いになったときのことを、よろしかったら教えてください。とっても興味があります。

### ●西田昌司の答え

私も安倍総理のファンでしたが、知ったきっかけは西部邁先生です。私が西部先生を尊敬していることは、週刊西田をご覧の方はよく御存じだと思います。私が京都府議会議員をしていた頃、西部先生が「発言者塾」を東京で開催されていまして、私も年に何回か参加しました。その時、私が西部先生に「国会議員でまともな政治家はいないのですか？」と尋ねると、「安倍晋三という政治家はなかなかいいねえ。彼はなかなかしっかりしているよ」という話をされました。当時も安倍総理の名前や顔を知ってはいましたが、よく知りもしないのに、また私自身が二世議員であるにもかかわらず、失礼ではありますが「安倍晋三さんは安倍晋太郎さんの息子さんで、たかが二世議員じゃないか」という程度にしか思っていませんでした。しかし西部先生から「彼はなかなか歴史観をしっかりと持っているよ」と聞かされ、少し認識を改めました。また安倍総理が1993年に初当選されてしばらく経った頃だったと思いますが、西部先生から「彼は安倍晋太郎の子供だということよりも、岸信介の孫だということが一番誇りに感じている」というお話を聞いたこともありました。このようなことがあり、私もいずれは安倍総理にお会いしたいと思っていました。

当時、私は京都府議会議員で、自民党の全国青年議員連盟という地方の県議会議員等が集まる会の会長を10年ほど務めました。その時代に自民党の歴代の青年局長に、いろいろなことを要望しました。安倍総理は当選二期目、若かりし衆議院議員の頃に青年局長をされています。この前までは小泉進次郎さんが青年局長をされていましたが、彼は一期目で青年局長を務めました。しかし彼の場合は例外中の例外であり、普通は二期以上の方でないとな青年局長にはなれません。青年局長になる方は将来、自民党のリーダーになることを期待され、将来を囑目される方が抜擢されます。西部先生のお話があったので、私は非常に楽しみにして安倍総理に会いました。その時に何を要望したのかは忘れましたが、その後にお食事も一緒にしたような気がします。西部先生がおっしゃったように、安倍総理は非常にまともで、真面目な方でした。この時に「私も将来、国政に出ることがあれば、こういう先生を支えてやっていきたい」と漠然と想着っていました。もう十数年前のことですが、それが今では安倍総理が誕生し、私も支えていることを喜んでます。今度の参議院選挙に勝って、安倍総理をしっかりと支えたいと思います。この質問を頂いて、私も当時のことを思い出しました。良い質問をありがとうございました。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>